

解説：病歴と現症から脳卒中だろうということは誰でも想像できる。我々がこの患者の搬入時に判断しなければならないのは CT と MRI のどちらを最初に撮るかで、これら以外の選択肢はあり得ない。脳梗塞ならば可能な限り早く血栓溶解療法を行うべきで、CT で時間を浪費することは許されない。この例では、不整脈があり、血圧は高くなく、神経症状は突然発症で、皮質症状が見られることから障害領域は右半球の広範囲にわたっている。これより、心臓由来の脳塞栓が考えられるので正解は b となる。

正解 b

復習問題

75 歳の男性。会議中に突然の左上下肢の脱力と呂律のまわりにくさを自覚して、救急車で搬送された。7 年前から降圧薬を内服している。洞不全症候群のために 5 年前からペースメーカーを入れている。身長 160cm、体重 58kg、脈拍 60/分、整。血圧 210/128mmHg。意識混濁、左片麻痺を認め、左 Babinski 徴候陽性。右への共同偏視がある。

まず行う検査はどれか。

- a 脳脊髄液検査 b 頭部 MRI c 脳波検査 d 頭部 CT e 心電図

解説：この場合は突然の発症で、症状が固定していること、来院時の血圧が高いこと、以前から高血圧症であることから脳出血を疑うので d が正解となる。

正解 d